

僧徒了。仍山大衆焼清水寺了。其後興

福寺大衆七大諸寺。与力企發向。及十

一月櫟崎辺。被宣下云。於金堂置十口供

僧。每僧事度可叙散位一人。別当僧正

被加御持僧云々。仍自彼所帰下了」(抄)

尋範↓弘覺

ス

隨願寺律師↓慶譽

崇朝(〇三〇四)

長元 七年 堅者。興。(五十五。勅使經輔)

セ

世好↓範覺

世豪(一毫)↓範覺

施曉(七九三・〇四)

延暦十二年 律師。二月廿日任。行基菩薩孫弟子。光

信大德弟子。「法相宗」(七)

十六年 少僧都。正月十四日任。

廿三年 入滅。月日。

施平(二六八三)

弘仁 七年 律師。五月十日任。

天長 九年 入滅。月日。

是算(〇〇四・〇四)

寛弘 元年 法橋。十一月廿一日叙。北野行幸賞。「彼

寺別当」(水)

二年 (法橋)

寛仁 二年 「或本今年卒」(水)

万寿 元年 「(法橋)」(水)

正義(八五)

天安 元年 大威儀師。花嚴宗。藥師寺。被置始。但

公会請用預之。其座次不依年藤加凡僧之上。

正義(九三)

延喜十二年 堅者。次。

正算(九八・九二)

永観 二年 權律師。八月八日任。天台宗。延暦寺。

左京人。「年六十六。臘五十三。住所

西塔西明房。大僧正法印大和尚弟子。

承平三年七月三日得度受戒。天曆十年

十月三日補惣持院十禪師。円賀補定心

院替。康保五年三月廿三日転定心院。

長□死欠替。安和二年閏五月廿三日

補内供奉十禪師。陽生讓。天元三年

六月廿一日依良源僧正奏為延曆寺阿闍

梨。同四年二月廿七日任法性寺座主」

(水)

寛和 二年

「律師。或三月十一日任」(水)

永延 元年

権少僧都。三月十日転任。「十二日任」

(水)

永祚 二年

入滅。十月七日。

正進(六桑一八号)

齊衡 三年

講師。花嚴宗。東大寺。

貞観 六年

権律師。二月十六日任。已講。

十六年

入滅。月日。

十八年

(権律師。コノ年マデアリ)

成圓(二〇九一二〇三)

寛治 五年

法眼。八幡宮権別当(裏書)

嘉保 元年

弥勒寺講師(裏書)

永長 二年

弥勒寺講師(裏書)

康和 四年

(法眼)。八幡宮別当(裏書)

成覺(二二二二二五)

寿永 二年

「法橋。寺。中納言。五十三。卅九」

(殘)

元暦 二年

「(法橋)。密。五十五。四十」(殘)

成源(二〇九一〇五)

長元 二年

堅者。興。(廿六)

長久 二年

講師。五月廿九日宣。法相宗。興福寺。

(卅八)

天喜 二年

権律師。五月廿九日任。已講。散位源

成頼子。於天台西塔出家受戒。後移山

階寺。□□

五年

権少僧。十二月廿八日転。(五十四)

康平 元年

(入滅。十二月十三日。五十五)

成秀(二〇九一〇〇)

長和 六年

権律師。三月十五日任。天台宗。御持僧

勞。「左京人。覺慶大僧正入室」。「延

暦寺。永祚二年延命院七禪師補了。院

源僧都弟也。法性寺阿闍梨。院源奏」

(水)

寛仁 四年

(入滅。八月三日)

成信(二〇六二二七)

應德 三年 法橋。十一月廿一日叙。

天仁 二年 「平等院上座」(水)

天永 四年 「六十六」

永久 四年 「五月一日為法成寺修理別当。即執行。長者宣也。阿闍梨真覺死欠替也。平等院修理別当也(裏書)」(水)

五年 卒。十一月日。「十一月十日死去。七十一。(裏書)宇治紀伊寺主」(水)

成清(二八三二八五)

寿永 二年 「法印。八幡。甲斐。光清子」(殘)

元曆 二年 「(法印)」(殘)

成典(九四一〇四四)

正曆 五年 「今年依大僧正奏。東寺置八人阿闍梨。定数最初也(裏書)」(水)

寛仁 三年 權律師。十月廿日任。真言宗。東寺「六十」。

長德四年補東寺入寺僧。正曆五年依大僧正寛朝奏為東寺阿闍梨。雅慶大僧正最初放解文」(水)

治安 三年 十二月廿九日補東寺別当。〔六十四〕

万寿 四年 權少僧都。三月十五日転任。〔六十八〕。

「十日任。六十九」(水)

長元 四年 權大僧都。十二月廿六日任。〔七十二〕。

「十六日任。七十四」(水)

九年 東寺加置阿闍梨八人。十二月廿九日宣旨。是依大僧都成典奏之(裏書)

長曆 元年 五月廿五日依御持僧勞賜。封七十二烟。〔七十八〕

二年 權僧正。六月十八日転任。〔八十〕

長久 五年 「入滅。十月十四日。八十六」

成傳(一〇六一〇七三)

延久 元年 權律師。五月廿五日任。護持僧勞。東寺。

真言宗。〔仁和〕

三年 二月廿日補東寺別当。

權少僧都。七月五日転。円宗寺御仏等造仏行事。仍追被賞。

五年 (權少僧都)

成扶(九七五)

天延 三年 堅者。次。

成寶(二八三二八五)

寿永 二年

「律師。廿五。廿六。東大。民部卿。養和元年三会。廿五。十六(残)」

寿永 二年

「延曆寺住学生。式部。立□。学頭(貞覚)(残)」

元暦 二年

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

三年

「(住学生)(残)」

成耀(1051-1100)

長治 二年

「卅七。大宰大貳藤師成子」(裏書)

承暦 二年

律師。十月六日任。行幸賞。依為寺上座也。〔近江守藤實經子〕

元永 三年

「三月二日長者宣。為河内国竜泉寺別当云々(裏書)」(水)

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

永保 三年

權少僧都。十月一日任。法勝寺御塔賞。依為寺上座也。

成隆(973-)

天延 元年

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

嘉保 元年

逝去。十二月於法勝寺。

西寺訓僧正↓寛靜

政嚴(1113-)

西方院座主↓院源

天永 三年

「五月廿六日長者宣。法成寺都維那(裏書)」(水)

性慶(1181-1285)

寿永 二年

「法橋。寺。大進」(残)

清意(1126-)

「二会。十月六日宣。天台宗。園城寺。已講卒」(水)

元暦 二年

「(法橋)。里」(残)

永久 四年

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

性憲(1181-1285)

寿永 二年

「法橋。山。大納言。四十三。廿七」(残)

清胤(969-996)

權律師。五月廿八日任。内供勞。天台宗。延曆寺。寿肇内供弟子。〔左京人。大江氏〕。〔年四十六。臘卅二。大江氏朝綱卿息。慈覺大師門徒。故阿闍梨内供

元暦 二年

「(法橋)。頭。四十五。廿九」(残)

永祚 元年

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

性舜(1181-1284)

「(律師)。三月。廿七。十八(残)」

奉十禪師。永延元年八月十七日補内供

奉十禪師。円賀辞退替。同三年五月十

一日依座主正算僧都奏為法性寺阿闍

梨。康保三年十月廿日得度受戒。永借

帳師主禪愉〔水〕

權少僧都。六月三日転任。

長徳 元年 入滅。五月八日。〔或本今年卒〕〔水〕

二年 〔五月八日卒。生年五十三〕〔水〕

清延〔二八二一八五〕

寿永 二年 〔天台灌頂。寿永元年宮始。山。土左。

六十八。五十七。十二出〕〔殘〕

三年 〔寿永二年始。天台灌頂。六十九。五

十八〕〔殘〕

元暦 二年 〔天台灌頂〕。七十。五十九〕〔殘〕

清圓〔〇三三〕

長元 六年 堅者。興。〔六十一。勅使経輔〕

清圓〔〇三六〕

承保 三年 法橋。月日叙。別当戒信讓。〔元〕大法師。

八幡〔裏書〕

清縁〔二三五〕

保延 元年 八幡修理別当。同二年月日死去〔裏書〕

清愷〔〇〇三〕

長保 五年 堅者。興。〔五十一〕

清慶〔九二〕

延喜十一年 堅者。

清慶〔二八二二八五〕

寿永 二年 〔興福寺学生。大輔□。五十。卅六。

学頭範玄〕〔殘〕

元暦 二年 〔学生。五十一。卅八〕〔殘〕

×清憲↓清賢

清賢〔×清憲〕〔〇〇六二二二〕

嘉保 三年 堅者。〔卅四。故美作守資定子〕〔裏書〕

永久 元年 南京講師。興。〔五十一。良慶辞退替〕

四年 大僧正覚信四月廿五日拜賀。前驅。已講

四人ノ内。〔清憲〕〔裏書〕。〔十月十一日

朝座堅義。已講。十一月廿一日長者

宣。春日御塔供僧。大法師〔裏書〕〔水〕

清壽〔遍照寺僧都〕〔九六一〇二六〕

長徳 四年 權律師。正月廿四日任。真言宗。円教寺

供養之日。師大僧正寬朝讓。〔頭中將

源正清子〕。〔正月廿三日任。頭中將源

忠清男。東大寺。大僧正入室弟。正曆

元年三月日補東寺入寺僧。濟信任律師

替。依大僧正奏為東寺阿闍梨。任日可

尋〔水〕

寬弘 八年 權少僧都。六月十二日転任。〔四月廿七

日転〕〔水〕

長和 五年 入滅。四月廿七日。〔廿九日卒。五十。

号遍照寺僧都〕〔水〕

清壽〔〇〇九一〇三〕

治曆 五年 法橋。月日叙。八幡〔裏書〕

延久 四年 卒。月日卒。八幡別当。

清秀〔〇〇六〕

康平 五年 〔四月廿七日補八幡別当清成弟子〕〔抄〕

清春〔〇〇九一〇〇〕

永祚 元年 堅者。

寛弘 四年 講師。興福寺。法相宗。維摩会第二日夕

座了。俄受病。辞退。〔四十三〕。〔於高

座俄悶絶。從僧等負扶退出。仍辞退。

言上子細之間參仕僧綱勤仕之〔裏書〕

〔水〕

清仁〔二二二一四〕

保延 二年 法橋。十月十五日叙。法金剛院御塔供養

賞。上座勞。〔歳〇〇〕。故因幡守隆時

子。山〕。〔十月卅日叙〕〔水〕

〔法金剛院上座〕

〔法橋〕

清仁〔二二六四〕

長寛 二年 〔法橋〕〔抄〕

清水律師↓清範

清成〔〇〇四一〇六〕

長久 五年 法橋。三月八日叙。八幡宮別当〔裏書〕

永承 二年 法眼。三月日叙。行幸賞〔裏書〕

康平 四年 法印。月日叙。

五年 〔四月廿七日行幸賞。補檢校。以弟子

清秀補別当。于時權別当二人〕〔抄〕

清朝〔〇〇五一〇六〕

天喜 三年 法橋。十二月廿八日叙。天台宗。延曆寺。

伊予國人。〔七十四〕

康平 五年〔入滅。十二月廿二日。八十一〕

晴譽(二四〇)

清範(清水律師)(九八四・九九九)

保延 六年 堅者。十月六日宣。公縁辞退替。〔五十

永観 二年 堅者。

七)。第四日朝座(裏書)

正暦 三年 講師。二年十月十七日宣旨。法相宗。興

盛算(九四一・一〇五)

福寺。(卅一)。「臘廿一」(水)

正暦 五年

長徳 四年 權律師。十月廿四日任。已講勞。〔守朝

〔阿闍梨。或説云。八月日被用置(裏書)〕
(水)

已講弟子。播磨国人。大和氏。〕年卅五。イ本卅七。守朝者空晴僧都弟子。

寛弘 七年

(裏書)守朝本師長守擬講也〕(水)

權律師。八月廿一日任。中宮御持僧勞。
(八十)。「真言宗。東大寺。年七十九。

長保 元年 入滅。閏三月廿二日。(卅八)。「号清水

臘六十四。高尾寺別当。住所清住寺。

律師〕(水)

清縁(二四一)

永治 元年 堅者。〔法勝寺十学生勞〕(裏書)

晴仁(二八二・二八五)

寿永 二年 〔法橋。山。大夫〕(殘)

元暦 二年 〔法橋。里〕(殘)

晴詮(二三六)

保延 二年 堅者。〔故修理亮元実子。四十五〕(裏書)

晴諶(二三二)

天承 元年 堅者。〔四十五。法勝寺学生勞〕(裏書)

長和 二年

〔四月五日任東寺長者〕(水)
別当也。件寺彼左大臣居所云々〕(水)
山。籠木洞送年月練行者。清住寺最初
左大臣男。一生間断歟。又数年入吉野
者宗叡僧正受法弟子者。件峰綜者夏野
子也者。東寺平撤阿闍梨血脉云。峰綜
峰綜大法師入室弟子。宗叡僧正受法弟
八人。定数其一。(裏書)平肅者清住寺
年八月日依大僧正寛朝奏為東寺阿闍梨
月日補東寺入寺僧忠印死欠替。正暦五
子。平肅大法師入室弟子。長保三年八
故大僧正寛朝受法弟子。寛静僧正弟
臘六十四。高尾寺別当。住所清住寺。

三年 權少僧都。十月廿八日転任。〔八十四〕
四年 〔入滅。七月日。八十五〕

盛修(二三)

天承 二年

〔七月八日僧事。東寺定額僧〔裏書〕〔水〕

勢智(二四)

康治 元年

五月五日太上法皇並禪定殿下於東大寺
御受戒。大十師。東大寺〔裏書〕

勢範(六九〇五)

昌泰 二年

講師。元年十月廿八日請。花嚴宗。東大
寺。伊勢国人。麻統氏。〔六十四〕

延喜 二年

權律師。三月廿三日任。已講勞。〔六十
七〕

四年

律師。二月廿九日転正。〔六十九〕
入滅。正月十一日。〔七十〕

勢祐(九四九六)

天曆 元年

講師。五月廿八日宣。天台宗。延曆寺。
〔五十五〕

八年

權律師。三月十九日任。已講勞。静観僧
正入室。清淵氏。〔六十二〕

天德 二年

律師。十二月廿七日転正。〔六十六〕

聖□(二〇七)

應和 元年

入滅。三月十九日。〔六十九。園城寺〕

寛仁 元年

堅者。東。三論宗。『三會定一記』等清誉

聖救(九九九九)

安和 二年

講師。辞退〔法縁ニ替ル〕。〔依病辞退。六
月十七日宣〕〔水〕

天元 二年

權律師。十一月廿一日任。天台宗。延曆
寺。同年擬講也。右京人。王氏。〔七
十一〕。〔年六十九。臘四十五。僧正良
源弟子。私師基増已講。遍賀座主舎弟
也。西塔真如房是基増住房也。承平三
年五月廿三日得度受戒。天禄五年二月
十九日依座主良源奏為延曆寺阿闍梨。
〔裏書〕基増者恵亮和尚宝幢院八禪師。
延曆寺入寺帳云。基増者貞茂弟子。貞
茂者慧亮和尚弟子。皆是師主也〕〔水〕

〔或本今年任權律師〕〔水〕

律師。十月廿二日転正。〔七十三〕。〔廿
一日転〕〔水〕

三年

四年

永延 元年

權少僧都。三月十日転任。〔十二日転任〕
〔水〕

正暦 四年 權大僧都。十二月十七日転任。

五年 大僧都。十一月五日転正。

長徳 四年 入滅。八月一日。(九十)。「八月一日辞退。

同月日卒」(水)

長保 元年 「卒月日」(水)

聖恵(長尾宮)(二三—二三)

長承 元年 法眼。九月廿一日蒙牛車宣旨並為。寛曉

讓(裏書)

法印。九月廿一日叙。一院孔雀経御修法

賞。三品。法親王(裏書)

保延 三年 崩。二月十一日。生年四十四。仁和寺。

号長尾宮」(裏書)

聖慶(二八)

元暦 二年 「園城寺住学生。式部卿。卅四。廿。学

頭慶智」(残)

聖顯(二八—二八)

寿永 二年 「法橋。寺。東北院執行。五十二。卅

七」(残)

元暦 二年 「法眼。正月十三日。大輔。里。五十

四。卅九」(残)

聖紹(〇九—〇九)

治暦 二年 權律師。十二月廿九日任。真言宗。東寺。

〔五十八〕

延久 元年 「円楽寺」

承保 元年 律師。(以下權ナシ)

三年 卒。正月十九日。(七十)

聖情(〇三)

長和 二年 「法印。正月廿日入滅(裏書)」(水)

聖尋(〇九)

嘉保 三年 堅者。辞退。(隆覚二替ル)(裏書)

聖清↓聖靜

聖靜(一清)(九三—一〇三)

永観 元年 「任別当。凡僧(裏書)」(水)

永延 元年 「法橋。或本。十一月八日叙。八幡行幸

賞。(裏書)永観元年七月四日補八幡別

当。正暦五年六月十一日辞寺務。十一

年。師主小栗栖座主秦舜律師(聖清)(水)

「法眼。イ本十月十一日叙。(裏書)十月

廿一日檢校。件日行幸即叙法眼」(水)

長保 二年 法眼。月日叙。始之歟。石清水別当(裏書)

五年 法印。月日転叙(裏書)。「三月四日叙。

行幸賞(聖静)〔水〕

長和 二年 「正月廿日。死去了。八幡檢校。法印初也(聖清)〔抄〕

聖尊(二八二二八五)

寿永 二年 「興福寺住学生。順観房。五十七。四

十二。学頭覚憲)〔残〕

元暦 二年 「(住学生)。五十九。四十四)〔残〕

聖寶(二四一九〇九)

寛平 六年 権律師。十二月廿二日任。三論宗。兼真

言宗。東大寺。真雅僧正弟子。同廿九

日為法弟。〔六十七〕

八年 法務並東寺別当補了。〔六十九〕

九年 少僧都。十二月廿八日転任。〔七十〕

延喜 元年 大僧都。正月十四日任。〔七十四〕

二年 権僧正。三月廿三日転任。〔七十五〕

六年 僧正。十月七日転正。〔八十〕

九年 入滅。七月六日。六月依病辞之。勅許之。

〔八十二〕

聖梵(二〇三六)

長元 九年 堅者。東大寺。

齊覺(二七四二〇七)

承保 元年 「(一)会講師。天台宗。千手院。五十三

権律師。十二月廿七日任。御持僧賞。〔五

十三〕

二年 権少僧都。正月十四日任。円宗寺講師

賞。

四年 権大僧都。正月十八日任。〔二)会勞〕

承暦 二年 卒。九月八日。〔五十六〕

齊祇(二〇二一〇四)

長元 元年 権律師。十二月卅日任。天台宗。千手院。

大納言道綱男。〔四十六〕。〔年四十七。

園城寺。勝算僧正弟子。住修学院)〔水〕

四年 律師。十二月廿六日転正。〔四十九〕

六年 権少僧都。十二月廿二日任。〔五十二〕

〔護持勞)〔水〕

七年 「今年辞退。或本辞状返給)〔水〕

永承 二年 入滅。〔七月廿九日。六十五〕

齊尋↓濟尋

靜安(二六八四)

承和 五年 律師。三月廿九日任。元興寺。〔生年四

十九。薦廿九〕

〔裏書〕靜安者修行業比良山ニ住シテ。

勤修恒時。礼拝十六仏名経。其声聴禁

中聖主御耳。即招請令礼仏名。其声与

遥聞同之。仍始修仏名於禁中。七道諸

国如此之。

七年

四月八日始御灌仏。御導師勤仕之。〔五

十一〕

十一年 入滅。三月三日。〔生年五十五〕

靜安〔花山律師〕〔九十九〕

永祚 元年

權律師。十二月廿七日任。天台宗。延暦

寺。〔御導師勞。六十五〕。〔或本長徳二

年任律師云々。可尋。〔裏書〕所々補任

不見靜安。而慈徳寺司等中槌書律師。

又彼寺令相尋之處。今日任律師之由皆

所稱也。但永祚元年任云々。可尋之

〔水〕

三年

入滅。七月三日。〔七十三〕。〔或本今年

卒。五月七日任權律師。年七十三。臘

五十七。故座主大僧正和尚弟子。律

長徳 四年

師覚恵入室。天慶四年五月十一日得度
受戒。天延三年四月九日依門徒阿闍梨
大僧正良源奏為元慶寺阿闍梨。増恒死
欠替〔水〕
〔卒。七月三日。七十四。号花山律師。
慈徳寺元慶寺別当〔水〕

靜意〔〇八五—二四三〕

応徳 二年

法眼。八月廿九日階。法勝寺常行堂供養

賞也。仁和寺宮御讓。〔殿下息。母美

乃守源頼〔十一女〕

得大寺別当。〔六十一〕

天承 二年

法印。十月十五日叙。法金剛院御塔供養

賞。檢校御室讓。〔六十六。仁〕。〔六

十七〕〔水〕

徳大寺別当。

〔法印〕。〔七十四〕

永治 二年

靜圓〔〇四六—一〇七四〕

永承 三年

權律師。十二月廿六日任。天台宗。千手

院。右大臣教通胤子。〔卅三。定基大

僧都弟子〕

天喜 二年

權少僧都。五月廿九日転。〔卅九〕

治曆 五年 權大僧都。十二月廿八日歿。〔卅二〕
 二年 法印權大僧都。十二月十九日歿。三月日
 補法成寺權別當。〔五十一〕

五年 〔木幡〕

延久 二年 權僧正。五月九日任。御持僧勞。
 三年 從六月廿日被始法成寺執行。
 六年 卒。五月十一日。春秋五十九。

靜覺〔〇五—一〇三〕

永承 六年 法眼。十二月廿九日歿。天台宗。千手院。

解脫寺太政大臣教通四男〔廿八〕。最
 円僧都入室

治曆 元年 法印。十二月卅日歿。〔四十二〕

五年 〔長谷〕

承曆 二年 法印權大僧都。正月十四日任。
 永保 三年 卒。九月卅日。〔六十〕

靜觀〔僧正〕↓增命

靜惠〔二八五〕

元曆 二年 「法印。五月廿七日。寺。宮。密。廿二。

七冬〔殘〕

靜慶〔〇八〇—一〇九〕

康平 三年 豎者。大宰帥藤資仲子。〔廿〕
 延久 四年 講師。法相宗。興福寺。〔卅二〕。東大寺
 法橋深幸辭退替。維摩會精義料。先被
 下宣旨也

靜慶〔二八—二八五〕

寿永 二年 「從儀師。仁。大南。〔マ〕十八。十四。未

役〔殘〕

元曆 二年 「從儀師。大門。廿七。十六〔殘〕

靜賢〔二八—二八五〕

寿永 二年 「法印。山。蓮元王院。六十。四十八

〔殘〕

「里。少納言。五月廿一日籠居。六十

一。四十九〔殘〕

「法印。六十二。五十〔殘〕

靜憲〔二六四〕

長寛 二年 「法眼〔抄〕

靜嚴〔〇九三〕

寛治 七年 豎者。〔前遠江守橘資成子。四十二〕〔裏書〕

靜嚴〔二八—二八五〕

寿永 二年 「山。下野。四十八冬。治承五年二會。

(殘)
三年
「律師。九月廿六日。四十九冬」(殘)
元曆 二年
「下野律師。五十冬。三会。(律師ノ頃
不見)」(殘)

靜算(二四一二九)

永久 二年
「十一月廿九日泉殿新阿弥(陀)堂供養。
威儀師(裏書)」(水)

四年
「閏正月三日長者宣。法成寺。威儀師
靜算補權都維那。五月廿三日被行僧事
次。寺別当。西寺威儀師(裏書)」(水)

元永 二年
「五月廿八日長者宣。転法成寺。權寺
主。威儀師(裏書)」(水)

靜俊(二三八二四)

保延 四年
法橋。十月廿九日叙。尊勝寺准胝堂修理
功。〔歳四十六。故藏人兵部大輔通輔
子〕

五年
永治 元年
〔尊勝寺寺主〕
二年
(法橋)。〔五十〕

靜昭(一照)(1000-1001)

長保 二年
法橋。五月十日叙。依説経賞。天台宗。

延曆寺。〔正月十日叙。高二位成忠卿
子息。賀縁阿闍梨弟子。後渡東塔住功
徳院云々(靜昭)〕(水)

五年
入滅。正月八日。

靜仁(1001-1002)

寛治 四年
法橋。十一月七日叙。北野行幸賞。別当

嘉承 二年
頼円法眼讓。〔大藏卿長房男〕
(法橋)。〔六月五日死。四十二。西塔〕(水)

靜暹(1003)

寛治 二年
法橋。三月日叙。(元)大仏師(裏書)
卒。十月日(裏書)

靜然(一二三一二五)

寿永 二年
〔法眼。山。大夫。蓮元房。七十七。
(ア、)

元曆 二年
六十四年〕(殘)
〔法眼。蓮光房。七十九。六十六〕(殘)

靜禪(1104)

長治 元年
始自八月一日御筆法華経御八講。聴衆
興福寺(裏書)

靜範(1105)

天喜 二年 堅者。興。〔讃岐守藤相任子。卅三〕

靜明〔1041-111〕

長治 元年 權律師。三月十七日任。尊勝寺行幸賞。

寺家上座。

天永 二年 卒。八月十九日。〔尊勝寺最初上座。真

如院別當。七十三。園城寺。〔裏書〕木幡

僧正靜円入室弟子。真如院別當正靜円

權公円如此讓畢。而靜命相具親父大宰

帥資仲下向鎮西之間。以權別當公円被

任真如院別當畢。公円逝去之後。靜命

補別當〔水〕

靜慮院僧都↓覺忍

濟意〔226-233〕

永久 四年 天台講師。阿闍梨。寺。

五年 九月廿一日〔寛助〕拜賀。前驅已講四

人ノ内〔裏書〕

保安 四年 〔正月四日死。七十八。已講〕〔水〕

濟延〔204-209〕

天喜 二年 權律師。五月廿九日任。真言宗。東寺。

故経頼男。〔四十二。濟信僧正入室〕

治暦 五年 權少僧都。十二月廿八日転。〔四十八〕

二年 權大僧都。十二月廿九日転。〔五十四〕

三年 〔六月加補東寺長者。五十五。為祈雨

於東寺修孔雀經法。仍加之。非長者不

行此法故也〕〔抄〕

延久 五年 入滅。十月廿四日。東寺權別當。

濟圓〔220-223〕

天永 元年 堅者。〔卅一。故摂津守藤師行子〕〔裏書〕

大治 五年 南京講師。興福寺。法相宗。〔五十一〕。

〔三會。十月廿日宣。津守藤原師行息〕

〔水〕

長承 四年 五月廿四日阿闍梨五人宣下。西大寺別

當。已講〔裏書〕

保延 四年 權律師。十二月廿九日任。西大寺金堂修

造功。〔年六十〕

六年 維摩講師。第二日夕座〔裏書〕

康治 元年 五月五日太上法皇並禪定殿下於東大寺

御受戒。教授説三衣一鉢物。〔權律師〕。

〔六十四〕〔裏書〕

濟快〔229〕

寬仁 三年 堅者。東。三論宗。

濟源(九元九六〇)

濟慶(二〇〇—二〇四)

天慶 二年 講師。五月廿八日宣。三論宗。藥師寺。

寬弘 七年 研学。東。三論。

天和 二年 大和國人。源氏。(五十五)

万寿 元年 講師。三月廿七日宣旨。三論宗。東大寺。

八年 權律師。十二月廿九日任。已講勞。(六十一)

(四十)。「三月廿九日宣旨。藤氏」

(水)

長元 七年 權律師。十二月卅日任。平能律師讓与。

天曆 二年 律師。十月十九日轉正。(六十四)
十年 權少僧都。十二月廿八日任。(七十二)

已講。參議藤有国四男。(興福寺真善僧

天德 二年 最勝會講師。(平叡死去ノ替)

正弟子。五十)。「廿日任。澄心僧都弟

四年 入滅。四月五日。(七十六。有往生瑞相)。

子」(水)

「藥師寺別当。東大寺義延弟子。伝云。

永承 二年 入滅。七月四日。(六十三)

一生間。念仏為事。臨終日。異香滿室。

濟賢(二〇六—二一〇)

濟高(九二五—九四二)

応徳 三年 法橋。(法勝寺□□師勞。□□殿御賞。

音樂聞空。又捨米五石於藥師寺修誦

造功)

延長 三年

康和 三年 死去。月日。

權律師。八月廿三日任。真言。東大寺。

濟元(二二八—二八五)

貞觀 三年

寿永 二年 「法印。仁。越中。七十九。六十六」

貞觀寺座主。兼勸修寺別当。醍醐先帝

(殘)

為寺別当被賞任之。

元暦 二年 「二月十五日入(滅)。八十一。六十八」

六年 十二月廿七日兼任東寺別当。

(殘)

承平 元年 律師。十月廿七日轉正。

五年 少僧都。十月十二日任。〔七十九〕
 天慶 三年 大僧都。十二月十四日轉任。〔八十四〕

五年 入滅。十一月廿二日。〔八十六〕

濟算(二〇五—二〇六)

天喜 三年 法橋。十二月廿八日叙。播磨國人。〔六

十五。勝空阿闍梨入室〕

五年 補四天王寺別當。〔六十七〕

康平 三年 法眼。十二月廿七日轉。〔七十〕

五年 入滅。正月十八日。〔七十二〕

濟實(二二一—二二二)

永久 五年 堅者。〔卅一。故周防守藤敦憲子〕〔裏書〕

元永 二年 南京講師。得業。〔卅四〕。興福寺。〔三會。去年十二月晦日宣〕〔水〕

〔一〕。〔年五十〕〔水〕

保延 元年 權律師。五月廿四日任。三會旁。〔五十

一〕。〔年五十〕〔水〕

四年 入滅。二月一日。〔生年五十四〕。〔生年

五十三〕〔水〕

濟信(仁和寺僧正)(九六—一〇〇)

永祿 元年 權律師。正月十一日任。真言宗。仁和寺。

雅慶弟子。左大臣雅信子。〔卅一〕。〔年

卅六。東大寺。〔裏書〕雅慶入室。寬朝

受法。年月日雖得東寺入寺僧解文。未

下官府。今年任律師了。左大臣源雅信

男〔水〕

長德 四年 權少僧都。十二月廿九日轉。〔四十五。去

廿二日任東寺長者〕〔水〕

長保 三年 〔二月十九日兼法務〕〔水〕

四年 權大僧都。七月廿六日轉任。〔四十九〕

〔水〕

寬弘 七年 大僧都。八月廿一日轉正。

八年 辞表。四月廿七日。讓永円。法務并東寺

別當等辞。

長和 元年 〔今年任勸修寺別當〕〔水〕

二年 權僧正。正月十四日任。前大僧都。

僧正。十二月廿六日轉正。兼法務。〔五十

五〕。〔真言院旁。〔裏書〕依東寺長者真

言院御修法。御前香水加持。無職位者

仍急任權僧正。同日兼法務〕〔水〕

寬仁 三年 大僧正。十月廿日轉任。〔六十二〕

四年 〔聽牛車。六十三〕。〔三月日〕〔水〕

治安 三年 辞退。十一月十五日。兼法務。東寺別當

長元 二年 「六十五」。「辞退所職」(水)
「十二月廿九日賜封七十五戸。臨時朝

恩」(水)

三年 入滅。前大僧正。〔六月十一日。七十二〕
「七十一」。号仁和寺僧正。辞职之後八
年」(水)

濟尋(齊) (二〇五) (一九五)

永承 七年 堅者。興。〔廿四〕。(齊尋)

治曆 二年 講師。月日宣。法相宗。興福寺。大式師

成男。〔卅七〕。(齊尋)

承曆 三年 權律師。正月十四日任。三会已講勞。

〔五十一〕。(齊尋)

応徳 三年 山階權別当執行寺務。(濟尋。永保三年
以後)

寛治 二年 權少僧都。九月十六日任。撰政春日御社

詣。依寺權別当被賞。

三年 權大僧都。三月十日任。春日行幸賞。依

寺家權別当也。

六年 法印。正月十九日叙。北円堂供養賞。寺

權別当也。

辞退。(權大僧都)。五月日。以隆禪為少僧

都。

嘉保 二年 逝去。二月十四日。

濟清(二三四) (二四二)

長承 三年 法橋。五月十日叙。(元)大法師。行幸

賞。檢校光清讓。八幡(裏書)。「五月十

九日叙」(水)

保延 三年 八幡修理別当(裏書)

七年 法眼(裏書)

濟僊(元) (一九〇)

延喜 元年 講師。二月十七日宣旨。三論宗。元興寺。

撰津国人。藤氏。〔七十六〕

五年 權律師。八月八日任。已講勞。藏人氏。

〔八十〕

六年 入滅。三月廿三日。(七十五)

濟暹(二〇二) (二二五)

康和 四年 權律師。二月廿六日任。為御願寺御方

違。行幸法勝寺常行堂御所賜勸賞。於

寺司仁和寺法親王即讓与也。

天永 二年 權少僧都。五月日転任。「八月廿七日任」

永久 三年 卒。十一月。〔九十二〕。「十一月廿六日卒」

(水)

濟尊(〇九二一二五)

寬治 六年 講師。園城寺。〔信乃守藤齋長子。母備

後守源道成女。四十〕

承德 三年 權律師。五月廿八日任。二会勞。

辭退。十二月日上表。

康和 二年 八月十九日為平等院權別當。前律師。

長治 二年 卒。二月廿二日。〔五十三〕

濟尊(二〇九)

天仁 二年 堅者。〔四十。葉師寺分。被下准業。長

者宣。前安芸守俊輔子〕〔裏書〕

濟棟(六二九〇五)

寬平 四年 講師。正月十九日請。法相宗。東大寺。

〔六十八〕

延喜 二年 權律師。十月十四日任。已講勞。〔七十一〕

二年 少僧都。三月廿三日任。〔七十八〕

四年 大僧都。十二月廿九日任。〔八十〕

五年 入滅。六月十八日。〔八十一〕

濟愴(二三五)

長承 四年 五月廿四日。阿闍梨五人宣下ノ内。法

勝寺。〔裏書〕

石淵僧正↓勤操

石泉房↓覺空

千覺(二三五)

保延 元年 堅者。〔故土佐守盛実子。卅五〕〔裏書〕

千舉(一攀)(九六九九〇)

安和 二年 權律師。五月廿八日任。真言宗。東大寺。

御持僧勞。〔三月十日任。卿加持。年

五十九。臘卅九。左京人。内供奉十禪師

遍勝弟子。天德二年五月日補入寺僧。

素光寺門跡遍勝寺円僭大法師之受法弟

子。円僭者益信僧正受法弟子(千攀、以

下同)〔水〕

天延 元年 〔十二月廿八日任東寺長者〕〔水〕

貞元 二年 權少僧都。六月十六日転任。〔十月五日

任〕〔水〕

天元 二年 少僧都。十二月廿一日転正。〔廿二日転

〔水〕

三年 入滅。正月四日。東寺別當。

千慶(二八三二八五)

寿永 二年

「園城寺住学生。成田屋□。四十七。

学頭道顯」(残)

元暦 二年

「住学生。成田房阿。四十九」(残)

千算(二〇四一〇五)

天喜 二年

法橋。五月廿九日叙。天台宗。千手院。

一乗寺。〔穆算僧都入室。七十七〕

五年

〔入滅。二月十九日。八十〕

千樹(九五)

天曆 六年

堅者。次。

千到(九六九九)

天徳 二年

堅者。

天延 元年

講師。去年十二月十六日宣。法相宗。

興福寺。〔六十一。長者内大臣兼通宣〕

永観 二年

権律師。八月八日任。已講勞。神念律師

入室。大和国人。伴氏。〔六十六〕。〔年

七十二。臘五十三。天元元年講師。

〔裏書〕山階寺南戒壇根本」(水)

永延 元年

律師。三月十日転正。〔六十九〕。〔十二

日転」(水)

二年 権少僧都。十一月三日転任。〔或本今年

三月二日任少僧都」(水)

永祚 元年

入滅。十二月三日。〔七十二〕。〔五月七

日任少僧都。七十七」(水)

千攀↓千舉

千猷(二〇五)

寛弘 二年

研学。

千良↓興良

仙忠(八九九〇五)

寛平 元年

任興福寺別当。治十六年。

三年

講師。二月十七日請。法相宗。興福寺。

〔長者右大臣良世宣〕。伊勢国人。〔六

十六〕

七年

権律師。十月十四日任。已講勞。麻統氏。

〔六十〕

延喜 二年

律師。三月廿三日転正。〔六十五〕

四年

少僧都。二月廿九日任。〔六十七〕

五年

入滅。六月四日。〔六十八〕

仙範(二八三二八五)

寿永 二年

「法眼。上了。少僧都。山。民部卿。

卅二。廿一〔残〕

元曆 二年 「少僧都」。密。卅四。廿三〔残〕

宣經(〇七三〇七五)

延久 五年 堅者。改定。去年宣經雖蒙宣旨依綸旨改

定。(永縁ニ替ル)(裏書)

承保 二年 堅者。(四十二)(裏書)

宣嚴(二四〇)

保延 六年 維摩会聴衆。東大寺六人ノ内(裏書)

宣範(二八三二八五)

寿永 二年 「威儀師。興。宮井。五十五。四十一。

十五出。已役〔残〕

元曆 二年 「威儀師」。五十七。四十三。十五出〔残〕

信惠(元五)

天徳 二年 堅者。次。

詮曉(二〇〇)

長保 四年 堅者。(四十三)

詮慶(二二八五)

元曆 二年 「法橋。山。上野。四十六。卅一冬」

〔残〕

詮秀(二〇〇五)

寛弘 二年 研学。(興。勅使左中弁説孝。卅二)

詮道(元七)

寛和 三年 「律師。正月日卒」(水)

暹宴(二二二二四)

天永 二年 「法橋。五月五日叙。観世音寺金堂修造

賞。寺別当」(水)

永久 二年 「卒。三月廿九日」(水)

暹賀(本覺房座主)(元九九九)

安和 二年 權律師。三月十一日任。天台宗。延暦寺。

内供基増已講入室。「三月十日任。或任日不詳。年五十五。臘卅七。或本不歷律師云々。少僧都良源弟子。承平元年四月十四日得度受戒。安和元年三月十九日依増恒奏為元慶寺阿闍梨。年月日補内供奉十禪師。奈良補任云。私師運日者。(裏書)或本云。師主運日定額。件定額者本覺房理仙大徳弟子也(暹賀)〔水〕

永延 元年 權少僧都。三月十日転任。「或本今年三月十四日任」(水)

会講師賞。最初講師。仍結願日有賞。

永祚 元年 權大僧都。五月七日転任。

〔四十二。前美作守源資定子〕律師。(以下權ナシ)。(遷豪)

元年 「十二月廿九日任延曆寺座主。(少僧都)」(水)

永保 二年 律師。(以下權ナシ)。(遷豪) 應德 元年 卒。十月日。

正曆 二年 大僧都。九月廿一日転正。「十二月廿三日任。七十八」(水)

遷豪↓遷敷 遷勝(二三)

三年 十月二日拜天台座主。

保延 四年 十二月廿九日阿闍梨廿人宣旨ノ内。延曆寺座主權僧正行玄挙(裏書)

五年 權僧正。十一月五日転。

長徳 四年 入滅。八月一日。山座主。治九年。「八十五。号本覚房座主」(水)

遷尊(二三) 長承 三年 堅者辞退。(任覺ニ替ル)(裏書)

遷快(二三)

保延 四年 十二月廿九日阿闍梨廿人宣旨ノ内。延曆寺座主權僧正行玄挙(裏書)

遷日(元允) 長保 元年 講師。去年十月廿日宣旨。天台宗。延曆寺。請後辞退了。仍改請遍陳。

遷覺(二二)

保延 三年 五月廿一日宣旨最勝講僧事次。内供。故清覚讓(裏書)

全快(二二二三) 寿永 二年 「内供奉。延曆寺四人ノ内。全真讓。全□同宿。惟方息」(殘)

遷敷(一蒙)(104-104)

承暦 元年 「二会講師。延曆寺。四十二」

全玄(二六)

二年 權律師。十月六日。行幸賞。法勝寺大乘

長寛 二年 「權大僧都。正月十四日任大。任日一。

「法眼。山。廿八。十五」(殘)

元權少僧都〔抄〕

全玄(二八三—二八五)

寿永 二年

〔前權僧正。山。樂貴院。七十一。五十九〕^(ヤ)〔殘〕

三年

〔樂音院。七十三。六十〕^(ヤ)〔殘〕

元曆 二年

〔僧正。正月十三日任。山。座主。七十四。六十一〕^(ヤ)〔殘〕

全眞(二八三—二八五)

寿永 二年

〔少僧都。山。二位。桂林房。卅三。廿二〕^(ヤ)〔殘〕

三年

〔二月日西国下。棲林房。卅四。廿三。〔入滅符号アリ〕〕^(ヤ)〔殘〕

元曆 二年

〔前少僧都。五月廿日。頭。山。卅五。廿四。〔入滅符号アリ〕〕^(ヤ)〔殘〕

善榮(七六七—七九四)

神護 元年

〔中律師。任日不見。或本無〕^(ヤ)〔七〕

景雲 元年

中律師。

延曆十三年

辭歟。入滅歟。可尋。

×善圓↓嘉圓

善往(一性)(九六七—二)

文武 二年 律師。三月十八日任〔□性〕。〔元興寺。天皇 二年 律師初也〕^(ヤ)〔七〕

大宝 二年 大僧都。正月十五日任。〔不經少僧都〕^(ヤ)〔七〕

和銅 四年 入滅。月日。

善海(三三八—四〇七)

承和 二年 律師。三月十一日任。

三年 講師。法相宗。西大寺。

十四年 入滅。三月廿二日。

善憲(二二二—二四〇)

天承 二年 〔二月廿八日法成寺御塔供養。行事威(儀師(裏書))〕^(ヤ)〔水〕

保延 六年 維摩会行事威儀師(裏書)

善謝(七六八—八〇四)

延曆 五年 律師。月日任。法相宗。美乃国人。不破氏。〔六十〕。〔興福寺。六十三〕^(ヤ)〔七〕

九年 〔或本云。辭退云々〕^(ヤ)〔七〕

廿三年 入滅。五月十八日。往生極樂。〔菩提・梵福両山間闌居送数年。遂有往生之

瑞)

善珠(七二一七九七)

延暦 元年

僧正。正月日任。天皇勅授僧正。依御持

僧勞也。(六十。法相宗。興福寺。阿

刀氏)。「京人。伝云。皇太子不予。依

井上靈。講般若經。御惱忽愈。仍直任

僧正云々」(七)

二年

「僧正。今年直任。或本云。延暦十六

十六年

入滅。四月廿一日。(七十五)

(裏書)或本云。善珠伝云。依祈護大般

若經。皇太子之病。即得除癒。依勅任

僧正。正月十六日任僧正。四月卒云々。

善勝(二八三二八五)

寿永 二年

「威儀師。興。寺林。五十九。四十三。

已役」(殘)

元暦 二年

「(威儀師)。六十一。四十五」(殘)

善上(七四一七九六)

延暦 三年

「律師。九月九日任」(七)

四年

律師。

十五年 辞退。月日云々。可尋。

善性↓善往

善藻(七五十七九七)

延暦 四年

律師。十月十八日任。

十六年

辞歟。滅歟。不詳。

善藏(九三)

承平 五年

堅者。興福寺。

善友(一〇三)

治安 三年

堅者。

禪安(九〇九二四)

延喜 十年

權律師。三月廿二日任。真言宗。東大寺。

十二年

五月十五日兼法務。

十四年

入滅。三月十三日。

禪雲(七九)

延暦 十年

「律師。東大寺別当。治四年。等定弟

子。補任中不見」(七)

禪圓(一〇三一二〇)

康和 五年

權律師。十月十二日任。法花御修法結願

賞。讓与也。

嘉承 元年 卒。五月十四日。五十七。

禪覺(二〇四)

長治 元年 堅者。(卅二。中務少輔基賴子)(裏書)

禪覺(二二二、二二四)

大治 四年 「十二月廿九日僧事。阿闍梨宣旨。山

七人ノ内。円宗寺法仁替。権少僧都忠尋解文(裏書)(水)

保延 三年 法橋。八月廿四日叙。日吉御幸賞。座主

大僧正讓。(歳四十六。山)。「八月廿三日叙」(水)

永治 二年 (法橋)。(五十一)

長寛 二年 「法橋」(抄)

禪閑(九四、九九五)

永観 二年 講師。元年十二月十六日宣。三論宗。菓

師寺。(興福寺常晴死闕。六十九)

正暦 四年 権律師。十二月十七日任。已講勞。(七

十八)。「大法師泰果弟子。(裏書)件泰

果者内供植果弟子。植果者律師道詮弟

子也。禪閑大和国也」(水)

長徳 元年 入滅。正月十九日。「八月廿九日卒。(長徳

禪喜(九元九五)

延長 七年 講師。二月五日宣。天台宗。延暦寺。藤

氏。(五十六)

承平 五年 権律師。十月十二日任。已講勞。(六十

二)

天慶 元年 律師。八月廿七日転正。(六十五)

八年 権少僧都。十二月廿九日任。(七十二)

天曆 二年 少僧都。十月十九日転正。(七十五)

三年 大僧都。十二月廿六日任。(七十六)

九年 入滅。六月七日。(八十二)

禪曉(九四、九七)

天曆 元年 堅者。興福寺。

天禄 二年 講師。元年十二月廿二日宣。法相宗。(長

者右大臣伊尹宣。六十九)。「年七十。

臘四十七。十二月宣旨。伊賀国人。基

継僧都資」(水)

禪景(九三)

天慶 六年 堅者。

禪藝(九三、九八)

三年 マデ権律師デアリ」(水)

応和 三年 講師。去年十一月十六日宣。天台宗。延

曆寺。〔六十二〕

安和 元年 権律師。三月十一日任。已講勞。空恵阿

闍梨入室。〔六十七。天台第二探題〕

二年 律師。三月十一日転正。〔六十八〕。十日

転。六月廿五日定心院十禅師〔水〕

天延 二年 権少僧都。五月十一日転任。〔七十三〕。

〔七十七〕〔水〕

貞元 二年 少僧都。六月十六日転正。〔七十六〕。八

十〔水〕

天元 二年 入滅。月日。〔七十八〕。月日辞退。八十

二〔水〕

三年 〔前少僧都〕〔水〕

禪壽〔二三〕

保延 四年 十二月廿九日阿闍梨廿人宣旨ノ内。法

金剛院御室挙〔裏書〕

禪仁〔九七〕

承平 七年 堅者。興福寺。

禪仁〔二二八〕

元永 元年 南京講師。得業。〔四月日賜請了〕。興福

禪仁〔二四二〕

長治 元年

寺。四十九〔七〕。〔尹中納言息歟〕。〔三
会。三月廿九日宣下。年四十八。法相
宗。尹中納言基長息〕〔水〕

始自八月一日御筆法花経御八講。聴

衆。園城寺〔裏書〕

辭退替

嘉承 元年 天台講師。阿闍梨。三井〔裏書〕

永久 四年 権律師。五月廿三日任。北已講勞。〔二会

勞。越前守基行子。〔裏書〕十一月廿一

日長者宣。春日御塔供僧。大僧正辞退

替〔水〕

保安 三年 〔六月日辞律師。又返給〕〔水〕

八月日僧正拜賀。前驅。車御前五人ノ

内〔裏書〕

辞退。

天治 二年 〔辞公講〕〔水〕

大治 二年 権少僧都。二月十八日任。二院熊野御幸

御経供養。

三年 権大僧都。二月日任。熊野御幸御経供養

賞。「三月日任。三院御熊野詣御経供

養賞。(裏書)十月廿二日於石清水宝前

被供養一切経請僧。唄(水)

五年

法印権大僧都。十二月十四日兼叙。熊野

御幸御経供養導師賞。「十二月廿九日

叙。(裏書)十月廿五日法金剛院供養。

持金剛衆。唄(水)

長承 三年

二月十七日法勝寺金泥一切経供養。

唄(裏書)。「七十三」(水)

閏十二月廿五日補崇福寺別当。

保延 三年

「最勝寺灌頂。大阿闍梨」(水)

四年

「尊勝寺灌頂。大阿闍梨」(水)

五年

入滅。正月十九日。〔生年七十八〕

禪智(二三)

保延 四年

天台講師。園城寺。〔卅九〕

禪智(二六)

長寛 二年

「権大僧都」(抄)

禪念(五十九)

延喜 五年

権律師。八月八日任。真言宗。東寺。渡

海入唐。

八年 入滅。七月廿七日。

禪微(九七九四)

天元 元年

講師。四月七日宣。三論宗。東大寺。〔七

十九。長者太政大臣頼忠宣〕。〔臘五十

二〕(水)

永延 元年

権律師。三月十日任。已講勞。〔七十七〕。

延徹僧都弟子〕。〔年八十八。大和国

人〕(水)

永祚 元年

律師。十二月廿七日転正。

正暦 五年

権少僧都。今年任。可尋。

入滅。三月十七日。〔八十四〕。〔或本今

年卒。九十五〕(水)

禪愴(黒谷僧都)(九七九九)

康保 四年

講師。去年十月廿日宣。天台宗。延暦寺。

〔五十九〕

貞元 二年

権律師。五月卅日任。已講勞。信乃国人。

〔六十六〕。〔六月十六日任。三会勞。年

六十七。臘五十三。延長三年六月八

日得度受戒。去天曆十年月日補定心院

十禪師。良源讓。去天祿元年六月廿九日。以禪愉定心院十禪師。相替助將釈迦堂五禪師〔水〕

天元 二年 律師。十二月廿一日転正。〔六十八〕

寛和 二年 権少僧都。十二月廿五日転任。〔七十五〕。

〔三月十一日任。十二月廿五日卒。辞歟。号黒谷僧都。生年七十六。或八十四〕〔水〕

永延 二年 〔前少僧都。寛和二年卒云々。是辞退歟。文書署判所注也。不審也。猶可尋之〕

〔水〕

永祚 二年 入滅。十二月廿二日。〔七十八〕

正暦 五年 〔今年卒歟。或八十四。当今年〕〔水〕

禪 祚（二〇六―二二六）

天仁 元年 尊勝寺灌頂。〔小阿闍梨〕〔水〕。仁和寺天台両門共訴之。

二年 権律師。三月廿九日任。蓮台阿闍梨。尊勝寺灌頂。〔小阿闍梨灌頂勞。真言宗。東寺〕〔水〕

保安 二年 〔十月六日補嘉祥寺別当〕〔水〕

四年 〔正月十四日任。〔律師〕。任日一〕〔水〕

五年 権少僧都。正月十四日転任。〔任律師一〕

〔水〕

大治 元年 入滅。三月日。〔三月十七日。年六十九〕

〔水〕

禪 理（二二四）

長寛 二年 〔法橋〕〔抄〕

祚 倫（元元九六）

天徳 三年 堅者。

天元 五年 講師。去年十一月廿一日宣。法相宗。興福寺。〔六十六〕。〔十月廿一日宣旨。平源弟子〕〔水〕

宋 延（二二六）

保延 二年 〔南京講師。辞退。興福寺〕。〔明海ニ替ル〕

宗 意（二二七―二四四）

保延 三年 〔東寺灌頂。小阿闍梨〕〔水〕

永治 元年 権律師。十一月廿四日任。東寺灌頂勞。

〔故源三位季宗子〕

二年 〔権律師〕

宗雲(二八三—二八五)

寿永 二年

「法橋。四月十二日叙之。寺。越前。
(マニ) 卅二。十九年」(殘)

元暦 二年

「法橋」。里。廿五。十一」(殘)

宗叡(六六八—六八四)

貞觀十一年

權律師。正月廿七日。真言宗。東大寺。

真(紹)弟子。渡海入唐。水尾法皇出家
師。(六十一)

(裏書)俗姓紀氏。初住天台山。祈請夢

示現。汝無此山緣。即登大嶽見坤。最
初見大塔寺行住者。覺之後登嶽。見東
寺塔。下山行間。至禪林寺。遇本願真
紹僧都。為入室。受戒伝法云々。

十五年

月日補東寺別當。(六十五)

十六年

權少僧都。十二月廿九日任。

元慶 三年

僧正。十月廿三日任。不經大僧都殊軫
任。(七十一)

八年

入滅。三月廿二日。(七十六)。「清和天
皇御出家戒師」(抄)

宗延(二五九—二六四)

平治 元年

「二會講師。延暦澄憲。十二月十日有
事不勤。代澄憲配流」(抄)

長寛 二年

「法眼」(抄)

宗圓(二〇五)

天喜 二年

「阿闍梨。七月廿一日被下宇治平等院
阿闍梨宣旨。四人ノ内」(抄)

宗圓(二八三—二八五)

寿永 二年

「法橋。寺。御熊野別當。廿四。十」
(殘)

元暦 二年

「法橋」。大進。里。廿六。十二」(殘)

宗縁(二六四)

長寛 二年

「法橋」(抄)

宗縁(二八三—二八四)

寿永 二年

「法橋。仁。中納言。六十八。五十八
冬」(殘)

三年

「里。三月十七日卒了。六十九。五十
九冬」(殘)

宗覺(二三—二三)

保安 三年

天台講師。寺。阿闍梨。八十一。「二會。

保延 二年 十月十九日宣。天台宗。園城寺〔水
權律師。正月卅日任。二会已講勞。〔三
井〕。〔六十五。權中納言藤能季息〕〔水

四年 入滅。五月日。〔五月二日。年七十七〕
〔水〕

宗覺〔二三五〕

天治 二年

「明源不經最勝一会。為疱瘡逝去畢。
仍最勝会五箇日之間。以五人講師勤之
ノ内〔裏書〕」〔水〕

宗覺〔二三七〕

保延 三年

「堅者。〔四十二〕〔裏書〕

宗覺〔二二四〕

長寛 二年

「權大僧都」〔抄〕

宗覺〔二八三〕〔二八四〕

寿永 二年

「前大僧都。興。中納言。禪南院。九十一」
〔殘〕

三年

「十月廿日入〔滅〕。九十一」〔殘〕

宗惠〔二八三〕〔二八四〕

寿永 二年

「法眼。興。客房。大納言。四十四。
卅二」〔殘〕

三年

「八月廿日於先日卒了。四十五。卅三」
〔殘〕

宗惠〔二八三〕〔二八四〕

寿永 二年

「上野。少納言。四十五。卅三年。安
元二年東寺灌頂」〔殘〕

元暦 二年

「〔東寺灌頂〕。小野。四十七。卅五」〔殘〕

宗元〔二八三〕〔二八四〕

寿永 二年

「律師。仁。大納言。四十八。卅五」
〔殘〕

元暦 二年

「〔律師〕。五十〔イ四十九〕。卅五〔イ卅七〕」
〔殘〕

宗彦〔二八三〕〔二八四〕

寿永 二年

「興福寺住学生。少輔。六十二。四
十九。学頭範玄」〔殘〕

元暦 二年

「〔住学生〕。六十二。五十一」〔殘〕

宗源〔二〇一〕〔二〇四〕

長和 五年

「堅者。東。法相宗。

長久 三年

講師。五月廿九日宣旨。東大寺。〔五十
九〕

宗嚴(二二二・二二九)

天永 三年

「五月廿六日長者宣。法成寺權上座(裏書)」(水)

元暦 二年

六十八。六十(殘)
「(前少僧都)。六十九。六十一」(殘)

永久 四年

「閏正月三日長者宣。法成寺權上座為正(裏書)」(水)

宗尋(二〇八四)

應徳 元年

豎者。〔六十〕(裏書)

五年

「十一月廿六日長者宣。法成寺執行以上座令奉行者也。法橋成信死欠替(裏書)」(水)

宗禪(二〇六・二〇七)

應徳 三年

(權)律師。十一月十一日任。〔御修法賞。前祭主永輔子〕

大治 四年

寛治 元年

卒。六月日。

宗實(二二四)

長寛 二年

「少僧都。正月十四日任。任日一。元權律師」(抄)

宗範(二〇九・二一〇・二一四)

承暦 二年

〔二会講師。園城寺。五十一〕

四年

(權)律師。五月日任。二会已講勞。

永保 元年

致辞。

應徳 元年

卒。七月三日。

宗秀(二〇三・二〇三)

延久 二年

法橋。十一月廿八日叙。北野行幸賞。別当勞。園城寺。

宗範(二一六)

長寛 二年

「權律師」(抄)

五年

(法橋)

宗通(二一八・二一八)

元暦 二年

「法眼。十一月十九日。仁。大夫。右馬權頭顯定息」(殘)

宗信(二二二・二二五)

寿永 二年

「前少僧都。興。光明院。太政大臣。

宗命(二一四)

長寛 二年

「法眼。東寺食堂修造賞」(抄)

相源(二二五—二四)

相縁(二三)

保延 四年

十二月廿九日阿闍梨甘人宣旨ノ内。
「文殊楼。法印権大僧都最雲孝」(裏書)長承 四年
保延 二年
三年「最勝寺灌頂。小阿闍梨」(水)
「尊勝寺灌頂。小阿闍梨」(水)
「尊勝寺灌頂。小阿闍梨」(水)

相覺(二九六—三〇四)

嘉保 三年

法眼。二月廿二日叙。前太政大臣宗家建

相豪(二三)

保安 五年

立京極殿御堂。□□十種供養事示一院
并女院御幸。仍被賞。寺別当僧正即讓
叙之。故右府息。
「五月十一日金泥一切経供養。引頭(裏書)」(水)

天永 元年

「五月十一日金泥一切経供養。引頭(裏書)」(水)

相算(九四)

保安 二年

權大僧都。十月六日任。「五十三。(裏書)

正暦 五年

九月長者宣。為平等別当。権僧正寛慶
替」(抄)
「阿闍梨。或説云。八月日被用置(裏書)」(水)

相慶(二八三—二八五)

五年

正月十四日補任法性寺座主。

相實(二二九—二六四)

保延 五年

入滅。四月廿九日。「五十五」(水)
法橋。十月十五日叙。俊恵律師譲与之。
故宰相□夷子。「歳五十二」

寿永 二年

「從儀師。山。惣公文。五十七。四十。
已役」(残)

永治 元年

法眼。十一月七日叙。座主権僧正行玄讓。
女御殿御産七仏薬師法賞。件賞今度始
云々。

元暦 二年

「從儀師」。五十九。四十二(残)

二年

「法眼」。五十五

長寛 二年

「法印権大僧都」(抄)

(残)

相春(二八三一二八五)

寿永 二年

「從儀師。山。白河。卅七。廿三。已役」(残)

相鎮(二二四)

長寛 二年

「法橋」(抄)

元暦 二年

「(從儀師)。卅九。廿五」(残)

相命(二二三二四三)

永久 元年

法眼。祇園行幸賞。座主讓。「十一月廿

相眞(二八三二八四)

寿永 二年

「延暦寺住学生。助。立。共。卅一。学頭(貞)覺」(残)

六年

十二日十七日最勝寺供養。散花。山。

三年

「(住学生)。卅二」(残)

元永 二年

「二月廿五日宣旨。為妙香院別当。清

相仁(二三一二三三)

保安 二年

天台講師。阿闍梨。山。歳卅八。「二会。十月十一日宣旨。天台宗。延暦寺。年

大治 三年

(権)少僧都。四月十七日任。日吉行幸賞。

保延 元年

權律師。五月廿四日任。三会勞。「二会勞。最勝講終日也」(水)

日於石清水宝前被供養一切経。引頭」(水)

入滅。十一月廿二日。(五十三)

天承 元年

「妙高院別当。四十七」

相澄(二八三二八五)

寿永 二年

「法橋。寺。相泉房。七十五。六十」(残)

二年

「二月廿八日法成寺御塔供養。唄。三月十三日得長寿院供養。唄。十月七日

三年

「相永房。七十六。六十一」(残)

宝莊嚴院供養。散花(裏書)」(水)

元暦 二年

「(法橋)。相家房。密。七十七。六十二」

保延 二年

權大僧都。正月卅日任。任日。(五十二)

七年 法印権大僧都。十一月廿四日叙兼。

永治 二年 (法印権大僧都)。(五十九)

相祐(二二八・二二九)

大治 三年

「三月十三日円勝寺供養・九月廿八日於法勝寺小塔供養・十月廿二日於石清水宝前被供養一切経。威從四人。從(裏書)」「(水)

五年

「十月四日延暦寺惣持院供養・同廿五日法金剛院供養。威從四人。從(裏書)」「(水)

天承 二年

「三月十三日得長寿院供養。八月十七日仁和寺田中殿御塔供養・十月七日宝莊嚴院供養。威從四人。從(裏書)」「(水)

僧昭(三〇三・三一一)

大宝 二年

律師。(正月十五日任力)。

和銅 四年

辞退歟。卒歟。月日。

×僧祐↓増祐

増意(二三)

長承 元年

堅者。(四十四)(裏書)

増印(二二四)

長寛 二年 「法橋」(抄)

増圓(二〇四)

寛徳 元年 堅者。(六十三)

増覺(二〇一・二三)

天永 元年

権律師。五月十三日任。三井。法勝寺御行次。「三月廿三日任。天台宗。園城寺。白川金泥一切経功供養賞。静覚法印入室。法勝寺寺主」(水)

永久 五年

「法勝・尊勝兩寺上座」(水)

保安 二年

卒。五月廿八日。六十三。「六十一」(水)

増覺(二八三・二八四)

寿永 二年

「東大。丹後。四十年。寿永元年維摩。三会」(殘)

三年 「四十一」(殘)

増基(二二〇)

大治 五年

「十二月廿九日僧事。阿闍梨。証金剛院権僧正解文(裏書)」「(水)

増惠(九七五)

天延 三年

堅者。(勅使左中弁佐理)

増賢(109-116)

嘉承 二年

權律師。五月廿三日。御修法勞。「天台

宗。園城寺。四品式部卿敦賀子。静覚

法印入室弟子」(水)

永久 四年

五月廿三日補任四天王寺別当。

元永 元年

卒。五月五日。四十九歳。

増孝(89-96)

寛平 八年

堅者。次堅義始之。

増恆(93-97)

天禄 三年

權律師。十二月廿日任。天台宗。延暦寺。

御修法結願日御前候。内大臣奉勅宣被任之。「夜居候間内大臣宣。年七十五。

臘五十一。故座主贈大僧都玄鑒弟子。

□氏。或実性弟子。延喜廿二年五月

一日得度。天曆八年五月廿日依実性奏

為元慶寺阿闍梨。康保三年十二月廿七

日補内供奉十禪師」(水)

天延 二年

少僧都。二月二日転任。御修法結願日内

大臣宣。二月廿九日卒。或本明年卒」

(水)

三年 入滅。二月廿九日。

増參↓増泰

増信(107-114)

承保 三年

堅者。「廿三。右中弁藤師家男」(裏書)

増仁(116-124)

保延 四年

法橋。二月十二日叙。熊野御幸。女院御

藥驗者賞。覚宗大僧□讓。「三井寺。

四十九」(水)

城勝寺上座。

永治 二年

(法橋)

増清(113-125)

寿永 二年

「法眼。八幡。修理別当。最清子」(殘)

元暦 二年

「法眼」。卅九。廿三」(殘)

増清↓湛清

増泰(118-126)

寛平 六年

堅者。

延喜 六年

講師。五年十月十九日宣旨。法相宗。興福

寺。伊勢國人。麻統氏。「六十七」。(増參)

十年 權律師。三月廿二日任。已講勞。「六十九」

十四年 律師。正月十四日転正。(七十三)
延長 三年 少僧都。三月廿三日任。(八十四)

四年 入滅。四月十日。(八十五)

増智(二〇六—二二五)

嘉承 元年 権少僧都。九月廿四日任。不経律師。大

僧正讓。三井一身阿闍梨。廿九歳。

天永 元年 「五月十一日金泥一切経供養。引頭(裏書)」(水)

永久 二年 「十一月廿九日泉殿新阿弥(陀)堂供養。散花(裏書)」(水)

四年 権大僧都。五月廿三日転任。卅九。「任日

一」(水)

元永 元年 十二月十七日最勝寺供養。引頭(裏書)

保安 二年 法印権大僧都。十月六日叙兼。四十四。

「四十六。去年任」(抄)。「四十四。(裏書)十月六日僧事。最勝講第四日已依吉日被行之。明日凶会也。法印兼」(水)

三年 十二月廿九日蒙若宮夜居宣旨。

天承 元年 「淨妙寺别当。五十四」

二年 権僧正。五月廿七日任。護持僧。(五十
五)。「二月廿八日法成寺御塔供養。呢

長承 二年

願(裏書)」(水)

正月八日補尊勝・最勝兩寺権别当。

(五十六)

三年

閏十二月五日任法務。(五十七)。「同廿

一日補平等院别当兼執印」(水)

四年

僧正。正月十五日転。七月三日補法勝寺

権别当。同十一日奉牛車宣旨。依所劳辞職。讓内供覺忠。「三月日補法成寺别当。

七月二日補法勝寺権别当。九月十二日依所劳辞退法務並僧正等云々」(水)

(保延元年)

入滅。九月廿三日。(五十八)

×増智↓懷智

増珍(二〇四—二〇九)

嘉保 元年

講師。十月十三日宣旨。年来勅勘。經十

五年免之。□賞。(五十九)

康和 二年

権律師。十二月廿九日任。二会劳。

長治 元年

始自八月一日御筆法花経御八講。講師

(裏書)

嘉承 二年

権少僧都。五月廿三日転。

天仁 二年

卒。正月一日。(七十四)。「正月二日卒」

(水)

增辨(二八三—二八五)

寿永 二年

「興福寺住学生。常土々。四十六。卅六。学頭覚憲」(残)

三年

「法印。六。四十七。卅七」(残)

元暦 二年

「(法印)。常陸。四十八。卅八。十一出」(残)

增命(靜觀僧正)(二九七—二九七)

寛平 九年

禁中御修善之次。殊勅有。拔和上。賜伝法阿闍梨。同年四月於惣持院鎮国道場。師当寺座主康濟律師。受職位五部灌頂云々(裏書)

延喜 二年

東大寺。自從儀師威儀師展転任。大威儀師。真言宗。讃岐国人。秦氏。聖宝僧正弟子。般若寺根本。同日。師弟共参内申慶。起時律師取僧正三衣箱出(裏書)

六年

十月十七日任天台座主。同十八日宣旨。智証大師弟子。右大史桑内安峰子。千手院座主。太上法皇為師。受廻心戒。戒壇現紫金之光。謚号靜觀。「第十天

台座主。十月十一日任」(抄)

十年

法橋。二月廿五日勅授(裏書)

法眼。秋九月廿五日法皇登幸山房。天子

聞法皇献和上。受三部大灌頂。畢已遣

中使右近少将藤原俊蔭。奉慰問於上

皇。以法眼和向位賜于座主。上皇手捧

其位記。頂拜而賜之云々(裏書)

十五年

少僧都。十月廿五日任。不經律師。同十

二月十九日辞天台座主。(七十三)

十六年

大僧都。四月五日任。天台座主(法務。

七十四)

十九年

天子為師奉読法花經給。

廿年

山座主辞退了。(七十八)

延長 元年

僧正。五月卅日任。(八十二)

五年

入滅。十一月十一日。同十二月廿七日号

靜觀。

增命(〇三三)

長元 八年

豎者。興。(五十五)

增祐(*僧祐)(二〇〇)

寛弘 七年

講師。九月廿七日宣旨。菓師寺。法相

宗。(五十四)。(懷壽辭退ノ替)。「年五十
二。イ五十五。四月廿八日宣。大和国
人。沓和僧都弟子。又安鏡弟子」(水)

増譽(一乗寺大僧正)(〇七〇一二)

延久 二年 権律師。七月廿二日任。一品内親王御瘡
病加持験得賞。園城寺。経輔御胤子。

〔卅九〕

承保 元年 権少僧都。十二月廿七日任。御持僧賞。

〔四十三〕

二年 法印。正月十四日叙。御持僧。

応徳 三年 法印権大僧都。十一月廿一日任。

寛治 三年 三月六日法務。前斎宮御惱加持賞。

嘉保 元年 七月十三日補天王寺別当。前摂政瘡病
平癒賞也。

増利(六二九六)

二年 十二月廿一日於綱所饗。

永長 元年 権僧正。十二月晦日任。

承徳 二年 六月十三日為法成寺別当。

康和 二年 七月一日依大衆之勸入寺。為長吏。
僧正。五月十三日転正。七月三日補法成
寺座主。

長治 元年 「閏二月十四日任天台座主。治二日」

(抄)

二年 閏二月十四日蒙宣旨天台座主。
大僧正。五月廿九日転任。

天仁 二年

三年

「三月十一日為法成寺執行長吏」(水)
「去年十二月日辞退法務僧正。三月四
日返給辞書。(裏書)五月十一日金泥一
切経供養。大僧正呪願」(水)

永久 元年

「八十二」。「正月卅日入滅。心誓・覚
円弟子。明尊入室。乘延弟子。(前大僧
正。一乗房」(抄)

辞退。十月日。被返辞書了。八十四。「十
月五日辞退両職」(水)

三年

入滅。正月廿九日丑時。八十五。「号一
乗寺大僧正」(水)

四年

増利(六二九六)

寛平 三年 堅者。

延喜 三年 講師。正月廿一日宣旨。法相宗。興福寺。

〔七十二〕

六年 権律師。十月七日任。已講勞。(七十一。
紀伊国人。伴氏)

十年 律師。三月廿二日転正。(七十五)

十六年 少僧都。四月五日任。〔八十二〕
 延長 三年 大僧都。三月廿三日任。〔九七〕
 六年 入滅。七月十三日。〔九十三〕

承平 元年 法眼。十月廿七日叙。
 五年 少僧都。十月十二日任。〔七十二〕
 天慶 元年 大僧都。八月廿七日轉任。同廿八日為法
 務。即辭了。〔七十五〕

藏祚〔九四九〕

康保 元年 講師。去年十月廿八日宣。法相宗。藥師

寺。〔六十一〕

安和 二年 權律師。三月十日任。已講勞。大和国人。

当麻氏。〔六十五〕。年六十六。大法

師基惟入室弟。〔裏書〕基惟大法師者慈

念律師入室。康保元年三會講師也。〔水〕

貞元 二年 權少僧都。六月十六日轉任。〔七十三〕

〔五月卅日任〕〔水〕

天元 二年 入滅。十二月六日。〔七十五〕。〔十月六

日卒。七十六〕〔水〕

尊意〔法性房座主〕〔九三九四〕

延長 四年 五月十一日任天台座主。治十八年。号

法性房座主。慈覺大師門徒。息長氏。

〔六十三〕

六年 法橋。閏八月廿八日叙。山座主増詮和尚
 入室。

三年 入滅。二月廿三日寅時。同廿六日贈僧
 正。〔七十七〕。〔天台座主。治七。左京
 人。史生子也。増全阿闍梨弟子。爰有
 占相者告言。可成人師国宝。而寿算短
 促。早隱居山谷。修延命法。増全聞之。
 授以觀自在如意輪法。十二年不出山門。
 於法性房下室苦修練行。從權律師玄昭
 窮三部秘法。承平五年十月十五日鳥入
 殿上。時司時申算一枚咋之去畢。令卜
 占之。御藥兵革者。同日於仁寿殿始修
 文殊八字法。第三日鳥咋算還來置本
 所。天慶元年夏炎旱。於豐樂院修尊勝
 法。第七日亥時快雨終夜。三年二月為
 降伏將門。於延曆寺講堂修不動安鎮国
 家法。將門帶弓箭見壇燼炎中。同廿二
 日遷化。廿八日贈僧正法印和尚。八十
 〔抄〕

尊印(二八三-二八五)

寿永 二年 「仁。賢知房。養和元年・寿永二年東

寺灌頂」(殘)

三年 「賢女房。□行」(殘)

元曆 二年 「(東寺灌頂)。六十一。四十五冬」(殘)

尊榮(二八三-二八五)

寿永 二年 「興福寺住學生。学王房。四十五。卅

六。十四出。学頭覺憲」(殘)

元曆 二年 「住學生」。学善房。四十七。卅四」(殘)

尊叡(九六-100)

長徳 四年 權律師。十月廿四日任。天台宗。延曆寺。

「公請勞。左京人。故延曆寺少僧都義

海和尚入室弟子。天曆八年十月廿六

日得度受戒。寛和二年十月十二日依慈

仁權僧正奏為慧心院最初阿闍梨。雲林

院」(水)

長保 五年 辞。十二月日。讓慶命。「廿日辞表寵多武

峰」(水)

寛弘 四年 「卒月日」(水)

尊叡(二八三-二八五)

寿永 二年 「法橋。安木。嚴島」(殘)

元曆 二年 「(法橋)。里。安芸」(殘)

尊覺(1051-1064)

天喜 三年 權律師。六月十六日任。天台宗。千手院。

故經頼男(四十七。明尊大僧正入室)

康平 三年 權少僧都。十二月廿七日歿。(五十二)

七年 「入滅。四月廿四日。五十六)

尊覺(一二六)

長寛 二年 「權律師」(抄)

尊觀(一二)

大治 三年 天台講師。「天台宗。園城寺。十月十一

日宣旨。若狹守藤原通宗子」(水)

尊義(一二九)

大治 四年 最勝寺灌頂。死闕。(覺宗二替ル)

尊教(七三)

宝亀 三年 内供奉十禪師。三月丁亥(裏書)

尊經(一二)

保延 四年 堅者。(五十六。法勝寺十学□)(裏書)

尊源(1061-1064)

康平 五年

法橋。五月十八日叙。天台宗。延曆寺。

〔主上御皇供勞。六十一〕

治曆 三年

法眼。月日転叙。主役御本命供賞。〔六

十六〕

延久 五年

〔法眼〕

尊源(二八五)

元曆 二年

〔法橋。同(正月十三日)叙。山。宰相。密。五十五。四十一〕(残)

尊實(二八二・二八五)

寿永 二年

〔法橋。仁。惠鏡房。七十八。六十二〕(残)

元曆 二年

〔法橋〕。八十。六十三〕(残)

尊實(二八三)

寿永 二年

〔内供奉。延曆寺四人ノ内。忠雲讓。公行卿息。同法印同宿〕(残)

尊忠(二八四)

長寛 二年

〔法眼〕(抄)

尊忠(二八二・二八五)

寿永 二年

〔少僧都。卅四年〕(残)

三年

〔山。殿。卅五。廿七〕(残)

元曆 二年

〔法印。正月十三日。密。卅六。廿八〕(残)

尊忠(尋・尋恵)(二八二・二八五)

寿永 二年

〔法眼。興。三位。四十五。卅一〕(残)

三年

〔四十六。卅二(尋忠)〕(残)

元曆 二年

〔四十七。卅三(尋恵)〕(残)

尊澄(二八二・二八五)

寿永 二年

〔法印。山。大蔵卿。六十七。五十一〕(残)

元曆 二年

〔法印〕。密。六十八。五十三〕(残)

尊珍(二三三)

天承 二年

〔五月廿七日僧事。阿闍梨九人。山三人ノ内(裏書)〕(水)

尊祐(二三三)

保延 元年

九月廿二日。阿闍梨。解脱寺(裏書)

尊隆(二六四)

長寛 二年

〔法橋〕(抄)